

## 朝来市立幼稚園、小・中学校施設の耐震診断結果について

朝来市教育委員会では、市立幼稚園、小・中学校の旧耐震基準（昭和56年以前）で建築された施設について耐震診断を行いましたので、診断を実施した学校施設の診断結果を公表するものです。

### 1 市立学校施設耐震診断実施状況

- (1)朝来市立幼稚園、小・中学校施設について、平成17・18年度に耐震診断を実施。  
 (2)耐震診断の対象となる建物は、旧耐震基準（昭和56年以前）により建築された2階建て以上又は延べ床面積が200㎡を超える非木造建物です。

学校種別	学校数 (園・校)	全棟数 (棟)	昭和56年以前建築の棟数	耐震診断実施棟数					
				改修の必要がない棟数	改修済	改修中	平成21年度以降改修予定	耐震診断実施率	
幼稚園	8	8	3	0	0	0	3	100%	
計	8	8	3	0	0	0	3	100%	
小学校	校舎	12	25	9	0	6	0	3	100%
	屋体	12	12	4	0	1	1	2	100%
計	24	37	13	0	7	1	5	100%	
中学校	校舎	4	12	12	0	3	0	9	100%
	屋体	4	4	2	1	0	0	1	100%
計	8	16	14	1	3	0	10	100%	
小中計	校舎	16	37	21	0	9	0	12	100%
	屋体	16	16	6	1	1	1	3	100%
計	32	53	27	1	10	1	15	100%	

注) 屋体：屋内運動場

### 2 耐震診断を実施した施設

#### (1)幼稚園

竹内幼稚園、寺内幼稚園、東河幼稚園

#### (2)小学校

生野小学校屋内運動場、奥銀谷小学校校舎及び屋内運動場、粟鹿小学校校舎及び屋内運動場、枚田小学校屋内運動場、大蔵小学校校舎

#### (3)中学校

生野中学校技術科室及び屋内運動場、朝来中学校校舎、和田山中学校校舎及び屋内運動場

### 3 診断結果

「耐震診断結果表」のとおり。

## 耐震診断結果表

実施年度	学校名	建築年度	構造	面積 m <sup>2</sup>	Is値		q値		耐震化優先度調査
					現状 上段:最高値 下段:最低値	現状 上段:最高値 下段:最低値	現状 上段:最高値 下段:最低値	現状 上段:最高値 下段:最低値	
平成17年度	枚田小学校 屋内運動場	昭和51年	RC	1,103	1.82	6.34	—	—	—
					0.05	0.08			
平成18年度	竹内幼稚園	昭和53年	RC	252	—	—	—	—	優先度ランク ⑤
	寺内幼稚園	昭和54年	RC	226	—	—	—	—	優先度ランク ⑤
	東河幼稚園	昭和55年	RC	207	—	—	—	—	優先度ランク ⑤
	生野小学校 屋内運動場	昭和46年	RC	862	5.87	20.60	—	—	—
					0.22	0.42			
	生野中学校 技術科室	昭和37年	S	285	—	—	—	—	優先度ランク ④
	生野中学校 屋内運動場	昭和35年	RC	971	7.38	27.33	—	—	—
					1.00	1.83			
	粟鹿小学校 屋内運動場	昭和54年	RC	600	11.15	39.11	—	—	—
					0.10	0.16			
	和田山中学校 屋内運動場	昭和42年	RC	1,261	2.80	10.40	—	—	—
					0.14	0.20			
	奥銀谷小学校 屋内運動場	昭和31年	S	507	0.39	0.71	—	—	—
					0.01	0.01			
	大蔵小学校 校舎	昭和52年 ～昭和54年	RC	3,401	1.89	6.63	—	—	—
					0.29	1.03			
	和田山中学校 北校舎	昭和40年	RC	2,682	1.11	4.10	—	—	—
					0.21	1.03			
	和田山中学校 南校舎	昭和43年	RC	2,562	1.61	5.67	—	—	—
					0.26	1.03			
	和田山中学校 東棟校舎	昭和43年	RC	538	1.01	3.13	—	—	—
					0.25	0.73			
	和田山中学校 西棟校舎	昭和43年	RC	347	1.30	4.80	—	—	—
					0.11	1.03			
	和田山中学校 給食室棟	昭和42年	RC	224	0.91	1.60	—	—	—
					0.20	0.90			
	和田山中学校 (金工室・美術製図室)	昭和45年	S	226	—	—	—	—	優先度ランク ④
	朝来中学校 南校舎	昭和39年	RC	2,313	1.92	7.13	—	—	—
0.14					0.41				
朝来中学校 北校舎	昭和39年	RC	2,082	0.79	2.92	—	—	—	
				0.29	1.35				
朝来中学校 東棟校舎	昭和39年	RC	296	0.76	2.32	—	—	—	
				0.45	1.01				
粟鹿小学校 校舎	昭和56年	RC	1,930	1.49	5.23	—	—	—	
				0.31	1.37				
奥銀谷小学校 校舎	昭和46年	RC	2,265	1.73	6.87	—	—	—	
				0.50	1.77				

注)RC:鉄筋コンクリート造・S:鉄骨造

〈安全性評価基準〉

構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性	Is 値（構造耐震指標）
大規模な地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い	Is 値が 0.3 未満
大規模な地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある	Is 値が 0.3 以上 0.6 未満
大規模な地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い	Is 値が 0.6 以上

※Is 値：建物の粘り強さに形状や経年等を考慮して算出される構造耐震指標  
（学校建物では 0.7 を基本とする。）

※q 値：建物の水平方向に受ける力に耐えられる力の指標  
（学校建物では 1.0 を基本とする。）

※耐震化優先度調査：鉄骨造、鉄筋コンクリート造の建物の調査・評価を行い、耐震診断実施の優先順位を判断する調査。①から⑤までの 5 段階の優先度ランクに判定され、小さい数字ほど優先度が高くなる。

※「大規模な地震」とは、震度 6 強～震度 7 程度の大規模地震のことをいう。

#### 4 今後の対応

幼稚園については、保育所施設と併せて集約化を図り、改築する予定です。

小・中学校においては、災害時における地域住民の避難所にもなることから、屋内運動場を優先施工することとし、建築年度・構造耐震指標（Is 値）を勘案して順次耐震化を図ります。